

2025年3月10日
理事 中嶋 貴子

日本NPO学会 事業提案書

「若年層を対象としたNPO研究者の教育研究活動支援」(仮)

NPOセクターの研究者、実践者も使命の一つである。本学会では、NPO領域の若手研究者育成をめざし、「若手研究者への国際学会参加助成事業」、「スタディグループ」などの取り組みが行われている。ただし、対象者は、大学生・大学院生であることから、これらの領域に進学するためには、高校在学中にNPO領域への関心や実践経験を培う必要がある。

2022年4月より、「公共」が高校公民科の新科目として導入されており、新学習要領において、NPO領域についても幅広く学ぶ機会となっているものの、大学等における専門課程の選択において選択するための機会は少ない。

さらに、高校在学中の探求学習が進められているほか、大学入試制度改革により、高校在学中の研究・実践の成果(論文執筆、学会等での研究発表、地域貢献活動やボランティア活動等の実践活動経験など)が、大学進学における進路選択に及ぼす影響も高まっている。

これを本学会がNPO領域の研究者育成、教育研究活動への社会貢献契機と捉え、日本NPO学会及び会員を中心とした、将来の高校生以下の世代を対象とした、学習や教育指導の機会を提供し、広くNPO領域の研究・実践に対する若年層の関心を高める。

実施事例:

- ・研究大会での発表を視座したワークショップやフィールドワーク、研究指導連携。
- ・研究大会でのポスター発表、高校生発表セッションの設置。
- ・会員が運営・所属する団体主催事業における教育連携、高大接続講座。

必要経費の一例:

- ・出張講座、高大接続講座への活動助成。
 - ・指導者への交通費等実費補助。
- (これらの経費について高校側に費用を相談することも検討する)

参考資料:

[2022年4月から始まる新科目「公共」は何を目指すか？ ～研究会レポート～【講演編】 - 教育図書教育図書](#)